

平成30年度 実施計画

行政委員会
事務局

行政委員会事務局

行政委員会 運営方針

1. 部内組織

部 長	井上恵子	構成課等	行政委員会事務局	
			選挙管理委員会事務局	固定資産評価審査委員会事務局
			監査委員事務局	公平委員会事務局

2. 暮らしの夢(総合計画基本計画より)

多様な人とふれあい、文化と人権意識を育む明るく楽しい暮らし

3. 部の重点的な取り組み

中長期的にみた重点的取り組み	今年度の重点的取り組み
業務の専門性を維持・増進し、法令に基づいた各委員会の担う職務をより有効・適切に執行する。 ①選挙管理委員会:適切な選挙の執行と住民の政治意識の向上及び投票率の向上をめざす ②監査委員:市の行財政運営の適法性、効率性、経済性、妥当性を確保できる監査体制をめざす ③公平委員会:専門性の維持向上と事案対応のための知識の研鑽 ④固定資産評価審査委員会:専門性の維持向上と事案対応のための知識の研鑽	①選挙管理委員会:適正な市長選挙執行と主権者の政治意識の啓発機会を増やす取り組みを行う。 ②監査委員:地方自治法の改正に伴い、より効率的で有効な監査を実施する。 ③公平委員会:研修会に参加し知識を高めるとともに、活用できる業務マニュアルに見直す。 ④固定資産評価審査委員会:固定資産評価審査請求に対応する。 ⑤職員が目標を掲げて取組んでいく(市長戦略)

4. 施策の柱と目的

施策の柱	施策の柱の目的	具体的施策名称
選挙管理委員会関係及び選挙の執行管理	公職選挙法に基づき、選挙事務を適切に執行・管理する。	地方選挙及び国政選挙の執行
		選挙人名簿の管理に関する事
		選挙管理委員会に関する事
		公職選挙法に関する事
明るく正しい選挙の推進	明るい選挙推進協議会とともに、選挙に関する啓発、周知等を行い住民の政治意識の向上をめざす。	日常的な選挙啓発活動
		明るい選挙啓発ポスターコンクール開催
		学校等の主権者教育への支援
監査委員関係	市の行財政運営の適法性、効率性、経済性、妥当性の確保のため、監査計画を立て、各種監査、検査を実施する。	監査計画に基づく各種行政監査の実施
		例月出納検査の実施
		全国都市監査基準に基づく監査の実施
公平委員会関係	公平公正な人事行政確保のため、法令に基づく公平委員会事務を実施する。	職員に対する不利益処分に関する事
		職員の退職管理に関する事
		職員の苦情処理に関する事
固定資産評価審査委員会関係	公正な税務行政確保のため、固定資産評価額に対する審査請求について、法令に基づき審査決定する。	固定資産評価額の不服に対する調査及び審査
		地価の下落時の修正価格への審査請求

5. 部の現状と取り巻く環境変化

部の抱える課題・リスク	課題解決に向けた取り組み
1. 常に法律に基づく業務を所管するため、専門性の高い職員の確保と人材育成が重要 2. 監査は市の予算執行や各行政の適正性を検証しているが、さらに効果的な監査が求められている。 3. 審査請求に即応できる体制の確保	1ー①専門性を保ちながら他委員会業務にも従事する。 1ー②業務マニュアルの見直しと適切な運用 2ー①独立かつ客観的な立場で監査等を実施する。 2ー②監査情報の透明性及び信頼性の確保のため、監査結果と意見に対する措置について公表を実施する。 3 社会の動向を注視し、的確な対応ができる能力の確保

行政委員会

選挙管理委員会・監査委員・公平委員会・ 固定資産評価審査委員会の事務局

1. 課の目的

法令に基づき所管する各委員会の業務を遂行するため、各委員会委員とともに事務局職員一人一人が専門性を高める。
選挙管理委員会事務局は、選挙に関する事務を実施するとともに、選挙に関する啓発、周知活動を明るい選挙推進協議会と共同し、実施する。
監査委員事務局は行政運営の健全性と透明性の確保に寄与し、住民の福祉の増進と市政への信頼確保に資することを目的とする。
公平委員会事務局は、公正・公平な人事行政確保のため、法令に基づく公平委員会事務を実施する。
固定資産評価審査委員会事務局は、公正な税務行政確保のため、固定資産評価額に対する審査請求について法令に基づき審査決定する。

2. 課の所掌する施策

選挙管理委員会・監査委員・公平委員会・固定資産評価審査委員会の事務局

3. 課の現状と取り巻く環境変化

課の抱える課題・リスク	課題解決に向けた取り組み
1. 常に法律に基づく業務を所管するため、専門性の高い職員の確保と人材育成が重要。 2. 監査は市の予算執行や各行政の適正性を検証しているがさらに効果的な監査が求められている。 3. 人事評価制度の導入に伴う審査請求等に即応できる事務局体制が必要。	1-①職員が専門性を保ちながら他委員会業務にも従事する。 1-②業務マニュアルの見直しと運用 2-①市とは独立かつ客観的な立場で監査等を実施する。 2-②監査計画を立て監査実施後の結果と意見に対する措置について公表を実施する。 3 職員が現状を注視し、事案に対して的確な対応ができる能力の確保 4 職員が目標を掲げて取り組む。

4. 課の組織力強化のための取り組み

取り組み項目	今年度の目標	昨年度の実施状況
課内の情報の共有化 (課内会議の実施等)	朝礼、報告等機会を捉えて情報共有を行う。	部局長会議の報告と回覧。日常的なコミュニケーションと必要時の会議の継続とスケジュール表の共有、ホワイトボードの活用を行った。
庁内他部署との連携や協力体制	選挙時は全部署の協力を仰いでいく。	選挙時は全部署の協力を仰いだ。
人材育成・ノウハウ継承 (業務マニュアル等)	業務マニュアルの内容の見直しと適正な運用が行えるように職員一人一人が努力する。	業務マニュアルを作成した。

所管部名	行政委員会
所管課等名	行政委員会事務局

施策名称		選挙管理委員会・監査委員・公平委員会・固定資産評価審査委員会の事務局
施策目的		法律に基づき、選挙に関する事務及びこれに関係のある事務を執行・管理する。 市の行政の適法性、効率性、経済性、妥当性の確保のため、法律に基づき各種監査・審査を実施する。 公正・公平な人事行政確保のため、法令に基づく公平委員会事務を実施する。 公正な税務行政確保のため、固定資産評価額に対する審査申出について、法令に基づき審査決定する。
今年度の重点目標		①効果的な監査の実施 ②予定されている市長選挙の適正な執行 ③各委員会委員の知識の向上
指針・法令等	"かたのサイズ"を目指す像	A.困ったときに何でも気軽に相談できるところがある。 B.市民も事業者も市の職員も、みんな楽しく汗をかいている
	関連法令	公職選挙法、地方自治法、地方公務員法、地方税法
	関連条例・規則	交野市議会議員及び交野市長の選挙におけるポスター掲示の設置に関する条例、交野市監査委員条例、交野市公平委員会設置条例、交野市固定資産評価審査委員会条例等
	関連計画	
	要綱等	交野市選挙人名簿の抄本の閲覧に関する要綱等
	業務マニュアル	選挙執行に関する業務マニュアル他
	ネットワーク	明るい選挙推進協議会、区長会

事業	名称	選挙管理委員会関係選挙執行			年度	30年度目標	29年度見込	28年度実績
		概要	活動指標	国府補助金	位置付け	一次評価	二次評価	三次評価
1	概要	選挙に関する事務の執行管理 選挙管理委員会の開催	—	—	—	—	—	—
	国府補助金	無し	予算・決算額	39,784千円	39,805千円	23,874千円		
	位置付け	法定事務 実施形態 直接実施	一次評価		A:拡充・重点化	A:拡充・重点化		
事業2	名称	明るく正しい選挙推進			年度	30年度目標	29年度見込	28年度実績
	概要	選挙に関する啓発、周知活動を 明るい選挙推進協議会とともに実施する	活動指標	—	—	—	—	
	国府補助金	無し	予算・決算額	416千円	342千円	297千円		
	位置付け	選択事務 実施形態 直接実施	一次評価		A:拡充・重点化	A:拡充・重点化		
事業3	名称	監査委員関係			年度	30年度目標	29年度見込	28年度実績
	概要	市の行政運営の透明性、適法性、 効率性、妥当性の確保のため、 法律に基づき、各種監査、 検査を実施する。	活動指標	—	—	—	—	
	国府補助金	無し	予算・決算額	1,843千円	2,002千円	2,042千円		
	位置付け	法定事務 実施形態 直接実施	一次評価		A:拡充・重点化	A:拡充・重点化		

事業 4	名称	公平委員会関係			年度	30年度目標	29年度見込	28年度実績
	概要	公平公正な人事行政確保のため、法令に基づく公平委員会事務を実施する。			活動指標	—	—	—
						—	—	—
	国府補助金	無し			予算・決算額	582千円	508千円	307千円
位置付け	法定事務	実施形態	直接実施	一次評価		A:拡充・重点化	A:拡充・重点化	
事業 5	名称	固定資産評価審査委員会関係			年度	30年度目標	29年度見込	28年度実績
	概要	公正な税務行政確保のため、固定資産評価額に対する審査請求について、法令に基づき審査決定する。			活動指標	—	—	—
						—	—	—
	国府補助金	無し			予算・決算額	320千円	320千円	19千円
位置付け	法定事務	実施形態	直接実施	一次評価		A:拡充・重点化	A:拡充・重点化	